V.G 槻輪（きりん） だより

会報　第117号
発行日　平成26年7月1日
発行・編集　V・G 槻輪
代表者　大岡成一
http://web1.ibj.co.jp/~kirin

わがまち紹介
〝竹林・田畑・水の音…変わりゆくまちで、旧き面影を辿るまち、旧春日村・服部緑地公園

平成26年6月19日（木）
快晴
桃山台駅（北大阪急行）駅　南出口集合
桃山台駅→桃山公園（春日大池）→春日神社→旧春日村→服部緑地（緑地公園）

今回の計画及びガイドに当たっては、「吹田まち案内人」の藤井さんに非常にお世話になりました。当日は、藤井さん・島本さんに長時間懇切な説明をして頂きました。本当に有難う御座いました。

桃山公園

北大阪急行桃山台駅のすぐ南側に位置する大きな公園です。小さな花壇やたくさんの樹木、「大阪みどり百選」に選ばれた竹林が、噴水のある春日大池を囲むように広がっています。

春日大池

春日町は、かつて下新田村と呼ばれ、新たに開発されて成立した村です。開発は江戸時代初め頃から山田村や佐井寺村の人々によって徐々に行われていたともいわれ、寛永3（1626）年に山田村・上・下両新田村の境界が決められ下新田村が成立しました。山林を切り開いての開発であったため水の確保に苦労したようで、灌漑はため池に頼らざるを得ません

でした。現在の春日大池は「字玉子谷溜」と古文書にあるため池と推定され、既に寛保3年（1743）には存在していたようです。こうしたため池は明治中頃までに200カ所を越えたといわれ、田畑の開発と水の確保に努力した村人の願いを今に伝えています。

春日神社

千里緑地内にあり、古い記録には1648年創建とある神社で、こけら葺の社殿もあります。

境内の鳥居、灯篭、手水鉢などには江戸時代の年号が刻まれています。見事な神社林に覆われた境内は、周囲より少しひんやりとしています。この神社の名にちなんで地域の名を春日としました。

西照寺

元禄5（1692）年の記録に「寛永8（1631）年門徒共」開基とあり、寺は下新田村が成立して間もない頃に開かれたとみられます。ただ、寛永14（1637）年の記録には「惣道場」と記載され、まだ西照寺とはいわなかったようです。元禄5年には西照寺と記録されていますから、本尊が授与されたという延宝7（1679）年に西照寺と名乗ることが許されたのではないでしょうか。村の成立とともに、浄土真宗寺院が村の道場から始まり、やがて本尊をうけて寺となっていくという真宗寺院成立の過程を伝えています。

服部緑地公園

1928年（昭和3年）大阪府が竹林、溜池の点在していた土地を買収、造園。財団法人大阪府公園協会が管理を行っている。面積は約126.3ヘクタールで、甲子園球場33個分（東京ドームなら27個分）という広大な敷地を有する。緑地内には緑豊かな自然のほか、「山ヶ池」など10以上の池や遊具が点在しており、春から秋にかけては花見などの行楽客で賑わう。園内のほぼ全域が風致地区に指定されており、日本の都市公園百選や日本の歴史公園百選にも選出されている。

S・O

“あらぎ島の棚田”

先日和歌山の小さな郵便局でのこと。 1，000円貯金したのに局員さんがまちがえて10，000円と刻印してしまいました。 取り消しのお詫びにと、金色の大きな〒ポストの貯金箱をくれました。 大金はムリだけど、小金なら貯まりそうです。

和歌山有田の「あらぎ島の棚田」の写真が撮りたくて出かけました。水を張った田んぼに青空が映る！のが狙いだったのですが、稲がもっと伸びて緑の水田のほうがよかったかなと思いました。川に沿って円形状に広がる棚田風景を見て下さい。　S・N

2014年7月度行事予定
“七夕月は星空の下であいましょう！”
茨木市立天文観覧室（プラネタリウム）

月　　日：2014年7月17日（木曜日）
集合場所：茨木市役所合同庁舎　1階　ロビー　10:15集合
JR京都線　茨木駅より東へ徒歩約9分
阪急京都線　茨木市駅より西へ徒歩約10分
その他：1）VG槻輪は、プラネタリウム撮影開始10:30を予約しています。
10分前には入館します。入館料：100円／人です。
2）一般参加者歓迎です。会員を通じて事前に申し込み下さい

2014年8月度行事予定
“吹田の名水を求めて！！　工場見学”
アサヒビール吹田工場

月　　日：2014年8月7日（木）
集合場所：JR吹田駅　東改札出口　10:00集合
JR吹田駅→東改札出口→北出口→府道14号線へ出る。→
アサヒビール迎賓館・先人の碑 → アサヒビール吹田工場
アサヒビール吹田工場　見学ロビーには、全員10:50集合下さい。
その他：1）見学は、11:00～12:30を予約しています。
2）お子様の同伴も歓迎です。